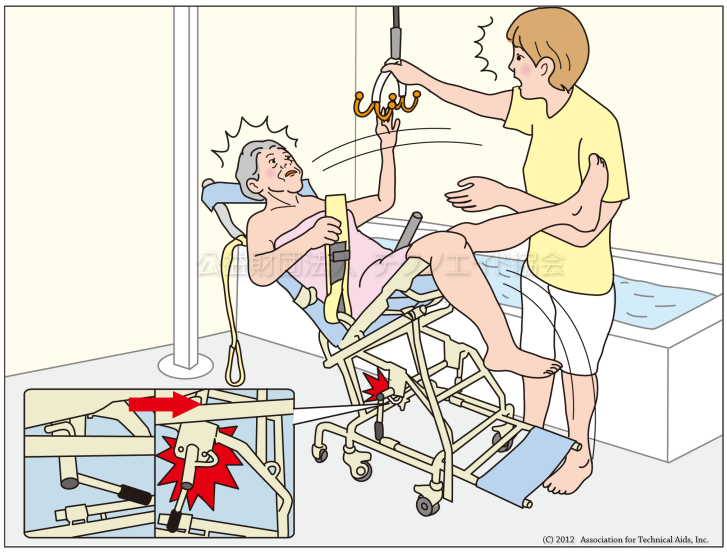
Case：268

台車部と固定をするロックをかけ忘れ、座部が倒れそうになる

場面の説明

座部を台車部に降ろした際、固定するためのロックをかけ忘れていたため、座部が後方へ倒れそうになった



利用シーン	入浴
主な利用場所	浴室・脱衣所
介護保険の種目	入浴補助用具
分類コード (CCTA95)	093303 (入浴用チェア)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

座部が台車部から分離する入浴用リフト用のシャワーキャリーでは、ロックのかけ忘れにより座部だけが転倒する危険があります。正しい操作手順では、座部はリフトによって吊り上げられておりバランスを崩すことはありませんので、介助者はその特性をよく理解して操作手順を守ることが大切です。安全な操作手順を理解していない人が見よう見まねで操作にあたることがないよう、しっかりとした管理も求められます。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：正しい操作手順を理解していなかった
人：あわてていて操作手順を間違えた
人：短時間ならロックをかけていなくても大丈夫だと思った
モノ：このような危険に対し注意喚起をする表示がなかった
管理：操作者が入れ替わった際に、注意点を申し送る体勢ができていなかった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.